

2013年度

安全報告書



この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全の確保のための取り組みや安全の実体をまとめたものです。ご意見・感想をお寄せください。

青い森鉄道株式会社

平成26年9月

目 次

1. お客様はじめ沿線地域住民の皆様へ	1
2. 安全確保に関する基本的方針	1
3. 安全目標	1
4. 安全管理体制	2
(1) 安全管理組織	
(2) 各管理者の役割	
5. 鉄道運転事故等の発生状況	3
(1) 鉄道運転事故	
(2) インシデント	
(3) 輸送障害	
6. 行政指導等	3
7. 安全確保の取組み	4
(1) 教育訓練等	
(2) 安全の水平展開	
(3) 安全会議の開催	
(4) 安全総点検	
(5) 地震・津波対応マニュアル	
8. 異常時訓練等の実施	5
(1) 踏切事故防止訓練	
(2) 実車訓練会	
(3) 総合脱線復旧訓練	
(4) ジャッキ操作訓練	
9. 人材の育成	6
10. その他	6
(1) お客様の意見等	
(2) 関係者との協議	
(3) 保健衛生対策等	
11. 安全報告書へのご意見に対する連絡先	6

1. お客様はじめ沿線地域住民の皆様へ

鉄道事業者である青い森鉄道にとって何より大切なことは、「安全の確保」です。地域の生活路線として皆様を安全に目的地までお連れするという使命感を持ち、毎日、安全・安定輸送に努めています。

残念なことに、昨年来 J R 北海道を始め鉄道事業に係わる事故が続けて発生し、お客様の鉄道に対する信頼が大きく損なわれてしまったのではないかと、同じ鉄道事業者として大変憂慮しているところです。青い森鉄道は開業以来無事故を続け、お客様の信頼をいただいておりますが、これからもその信頼を失うことのないよう、今回の他社での出来事を自らのことととらえ、全ての業務を一から見直ししました。

これからも「青い森鉄道の安全文化」の確立のため、社員一同努力を続けてまいりますので、今後とも皆様のご理解とご協力をいただければと思います。

本報告書は、鉄道事業法に基づき輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について公表するものです。ぜひご一読いただき、ご助言、ご意見をいただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

青い森鉄道株式会社
代表取締役社長 小林 巧一

2. 安全確保に関する基本的方針

当社では、安全第一の意識に基づき安全に関わる行動規範を安全管理規程に次のように定め、社長以下全社員に周知・徹底しております。

- (1) 安全の確保は輸送の生命である。
- (2) 規定の遵守は安全の基礎である。
- (3) 執務の厳正は安全の要件である。
- (4) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
- (5) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- (6) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

3. 安全目標

当社では、2013年度青い森鉄道安全計画の中において下記のとおり定め、目標達成に社員一同取り組みました。

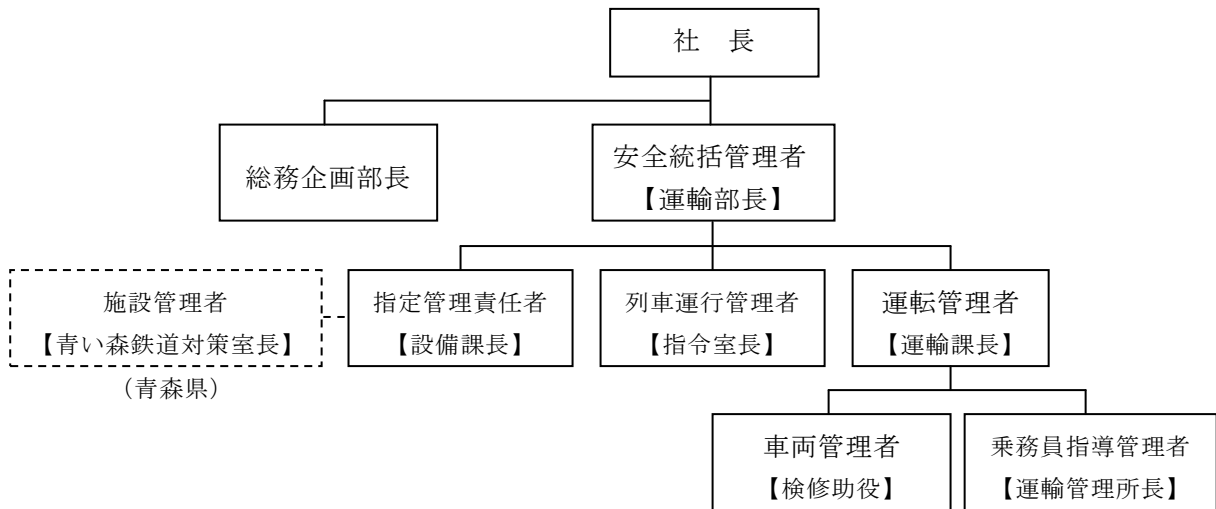
鉄道運転事故	
・列車事故（衝突・脱線・火災）	0件
・人身障害事故	0件
・踏切障害事故	0件

4. 安全管理体制

(1) 安全管理組織

当社では、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織体制の中で、安全統括管理者・運転管理者・その他の管理者等が、それぞれの責務を明確にした上で安全確保のための役割を担っています。

平成26年7月組織改編に伴い一部変更しました。



(2) 各管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者 【運輸部長】	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者 【運輸課長】	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
指定管理責任者 【設備課長】	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
(施設管理者) 【青い森鉄道対策室長】	輸送の安全の確保に支障を及ぼすことのないよう施設を維持管理する。
列車運行管理者 【指令室長】	安全統括管理者の指揮の下、輸送計画の作成及び指令業務に関する事項を管理する。
車両管理者 【検修助役】	運転管理者の下、車両に関する事項を管理する。
乗務員指導管理者 【運輸管理所長】	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
総務企画部長	安全統括管理者及び指定管理責任者と連携し、輸送の安全の確保に必要な予算・要員の指定等及び輸送の安全の高揚をうながす広報活動を統括する。

5. 鉄道運転事故等の発生状況

鉄道事故等報告規則（昭和62年2月20日運輸省令第8号）に基づき、東北運輸局に報告した鉄道運転事故等の発生状況を報告します。

(1) 鉄道運転事故

2013年度の発生はありませんでした。

(2) インシデント

2013年度の発生はありませんでした。

(3) 輸送障害

2011年度から3年間の輸送障害（30分以上の列車遅延や列車運休が発生した障害）の推移は、次のとおりです。2013年度は、35件となっており、その3分の2は、自然災害によるものです。

(件)

区分	原因	2011年度	2012年度	2013年度	
部内原因	鉄道係員	1	0	0	
	車両	2	5	6	
	鉄道施設	0	3	1	
部外原因	鉄道外	動物	0	1	1
		その他	0	1	4
	自然災害	地震	3	3	0
		雨	2	3	5
		風	7	12	10
		雪	9	3	7
		その他	3	1	1
合計		27	32	35	

※2014年1月26日乙供駅構内で発生した輸送障害（人身事故）は、JR貨物（株）からの報告のため、ここでは計上していません。

6. 行政指導等

2013年度に東北運輸局からの行政指導等はありませんでした。

7. 安全確保の取組み

(1) 教育訓練等

○運転士の教育

・定例訓練

年度計画表に基づき、全運転士を対象に毎月実施しています。

・フォローアップ研修

年度計画表に基づき、J R 東日本盛岡支社に委託してシミュレーションを主体とした異常時対応の研修を実施しています。

○施設保守技術員の教育

年間計画表に基づき、施設保守技術員（協力会社社員含む）に対して施設の保守管理の重要性について定例的に机上・実技で教育しています。特に線路閉鎖責任者・軌道施工管理者に保守用車の運転取扱い等を指導しています。

(2) 安全の水平展開

J R 東日本の青森・八戸地区指導センターが開催する「安全推進会議」に毎月参加し、情報の共有化と安全の取組みに対する水平展開を図っています。

(3) 安全会議の開催

各現業機関においては、毎月1回「安全の日」を制定し、協力会社と安全に係わる情報交換と事事故例等を活用して各種事故防止に努めています。また、必要に応じて、現場パトロール等で改善を行なっております。

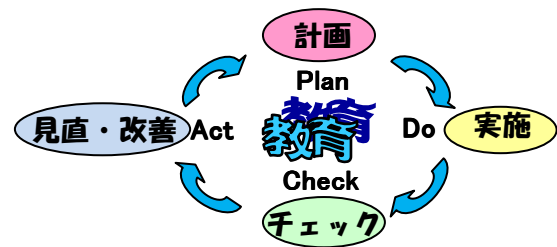
(4) 安全総点検

- ・ GW期間中における輸送の安全確保（4月26日～5月7日）
- ・ 夏季における輸送の安全確保（7月26日～8月21日）
- ・ 年末年始の輸送等に関する安全総点検（12月10日～1月10日）

12月から1月にかけての年末年始の繁忙期を控え、社長をはじめとする各部長が、青森・八戸の両現場、並びに各駅の取組み状況についての安全点検を行っております。

(5) 地震・津波対応マニュアル

2011年3月の大災害を踏まえて、青い森鉄道線内の再調査を行い「地震・津波対応マニュアル」を作成し、災害発生時にお客様並びに社員の安全確保と早期復旧に向けた取組みを図っています。2014年6月には、八戸地区のハザードマップの一部見直しを行っております。



8. 異常時訓練等の実施

(1) 踏切事故防止訓練

春・秋の全国交通安全運動期間中の4月10日に小湊駅構内福島道踏切、9月26日に苫米地山道踏切で、踏切事故防止啓発を図るために関係警察署、自治体、JR東日本地区指導センター及び地域住民の参加を戴き、踏切事故防止訓練会を実施しました。また、踏切事故防止のチラシ等を配布し啓蒙活動も行ないました。

(2) 実車訓練会

11月7日に八戸駅構内で実車運転訓練会を実施。雪害を想定しパンタグラフ屋根雪落とし訓練を行いました。

いわて銀河鉄道が主催するいわて銀河鉄道線の訓練会が10月28日に好摩駅～金田一温泉駅間で開催され異常時の適切な対処の取組みを行いました。

(3) 総合脱線復旧訓練

JR貨物会社東北支社の主催する総合脱線復旧訓練会が10月31日に盛岡貨物ターミナル駅で開催され、ELの載線、コキ車の取扱い、携帯用信号炎管の取扱いなどの訓練を行いました。

(4) ジャッキ操作訓練

9月11日運輸管理所構内で、消防学校訓練生がエアージャッキ操作訓練を実施。併せて当社でも車両のジャッキアップ訓練を実施しました。



平成 25 年 9 月 11 日 エアージャッキ操作訓練



平成 25 年 11 月 7 日 雪落とし訓練会



9. 人材の育成

- ・ 2013年度 新入社員12名の研修を4月1日～4月12日に実施し、社会人としての規律・規範・マナーの向上を図りました。
- ・ 2013年度 動力車操縦者運転免許試験・・・4名合格（JR東日本委託）
- ・ フォローアップ研修・・・12名、運転士（JR盛岡総合訓練センター）

10. その他

(1) お客様の意見等

- ・ 「お客様の声」ボックス並びにメール投稿に対するお客様の意見を収集し、輸送サービスの改善に努めています。
- ・ サービススタッフ並びに駅サポーターによるお客様の意見を収集し、お客様サービスの改善に努めています。
- ・ 青森・八戸駅配置のアテンダントを列車に乗車させて乗車券の発売・グッズ販売等を実施するなどして、お客様の案内サービスに努めています。
- ・ 「鉄道の日」には、「ゆるキャラまつり」「鉄道フェスティバルイン東北」等の各種イベントに参加しながらお客様の意見等を集約し、サービスの向上に努めています。

(2) 関係者との協議

- ・ 青森県鉄道警察連絡協議会に参加し、情報交換と各種課題解決を図りながら、お客様が安全・安心な鉄道のご利用ができるように努めております。
- ・ 消防署によるAEDを含めた救命に必要な応急手当等の講習で46名が受講しました。
- ・ 第3種鉄道事業者の窓口である青い森鉄道対策室とは常に連絡を密にし、異常事態の発生時並びに輸送量の変動に対する情報交換に努めております。

(3) 保健衛生対策等

- ・ インフルエンザ対策として予防接種の実施
- ・ その他感染予防に必要な保護具と衛生用品の整備

11. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組に対するご意見をお寄せください。

青い森鉄道株式会社お客さまご案内窓口

TEL 017-752-0330 FAX 017-781-3831

E-mail tetsudou@aoimorirailway.com

■月～金 9:00 ～ 17:30 （祝休日を除く）